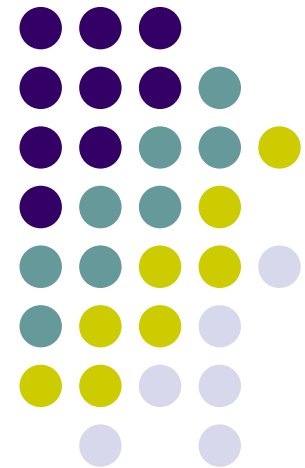


平成25年3月期第2四半期累計
決算説明資料

大村紙業株式会社

大阪証券取引所
JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部および営業所
: 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・
仙台・京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉・
会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前半は震災の復興需要やエコカー補助金等により穏やかに回復してまいりましたが、後半は依然として不透明な欧州の債務問題、米国、中国の景気減速や円高の影響もあり、輸出にかげりが見られる状況になってきました。
- 当業界におきましては、依然として震災の影響は残るものの生産量は、ほぼ前年並みの水準となりました。
- 昨年の震災で被災した仙台事業部の業績の回復に努めた結果、生産量につきましては、段ボールシート29百万 m^2 (前年同四半期比2.9%増)、段ボールケース20百万 m^2 (前年同四半期比1.7%減)となりました。
- 当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,578百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。利益面につきましては、経常利益235百万円(前年同四半期比26.3%増)、四半期純利益133百万円(前年同四半期比54.0%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は大阪証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

平成24年3月期第2四半期累計 業績概要①



● 昨年の震災で被災した仙台事業部の業績の回復に努めた結果、売上高2,578百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。利益面につきましては、経常利益235百万円(前年同四半期比26.3%増)、四半期純利益133百万円(前年同四半期比54.0%増)となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成24年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成23年4月～9月)	前年同四半期比
売上高	2,578	2,473	4.2%
営業利益	228	183	24.9%
経常利益	235	186	26.3%
四半期純利益	133	86	54.0%



業績概要②

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、6,325百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加し、たな卸資産および有形固定資産が減少したことによるものであります。負債は、前事業年度末に比べ90百万円減少し、1,899百万円となりました。これは主に支払手形および買掛金が減少したことによるものであります。その結果、純資産は4,425百万円となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成24年9月末)	前期末 (平成24年3月末)
流動資産	3,971,499	3,943,726
現金及び預金	2,380,058	2,237,391
受取手形	481,167	487,358
売掛金	781,592	793,615
たな卸資産	275,093	363,567
その他流動資産	53,588	61,793
固定資産	2,353,611	2,388,418
有形固定資産	1,980,250	2,007,693
無形固定資産	9,841	15,160
投資その他の資産	363,519	365,564
資産合計	6,325,110	6,332,144

(単位:千円)

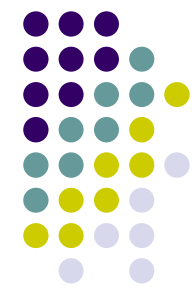
負債・純資産の部	当期末 (平成24年9月末)	前期末 (平成24年3月末)
流動負債	1,310,568	1,406,922
支払手形	798,062	952,795
買掛金	179,972	165,876
未払法人税等	101,789	60,329
その他の流動負債	230,743	227,920
固定負債	588,544	582,449
退職給付引当金	203,043	201,585
役員退職慰労引当金	368,600	363,963
その他	16,900	16,900
負債合計	1,899,113	1,989,371
純資産合計	4,425,997	4,342,773
負債・純資産合計	6,325,110	6,332,144



業績概要③

(単位:百万円)

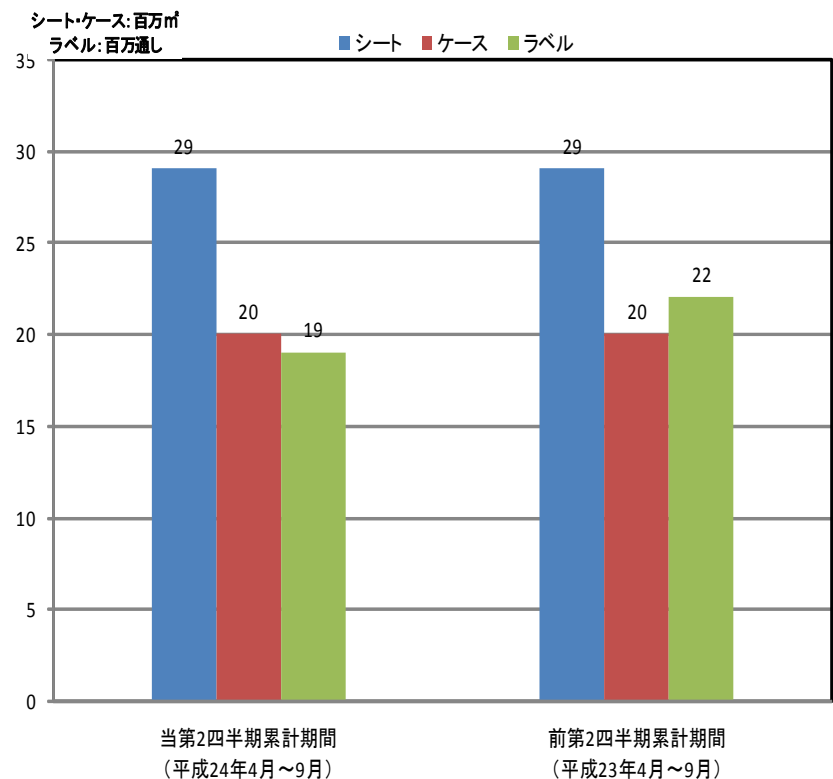
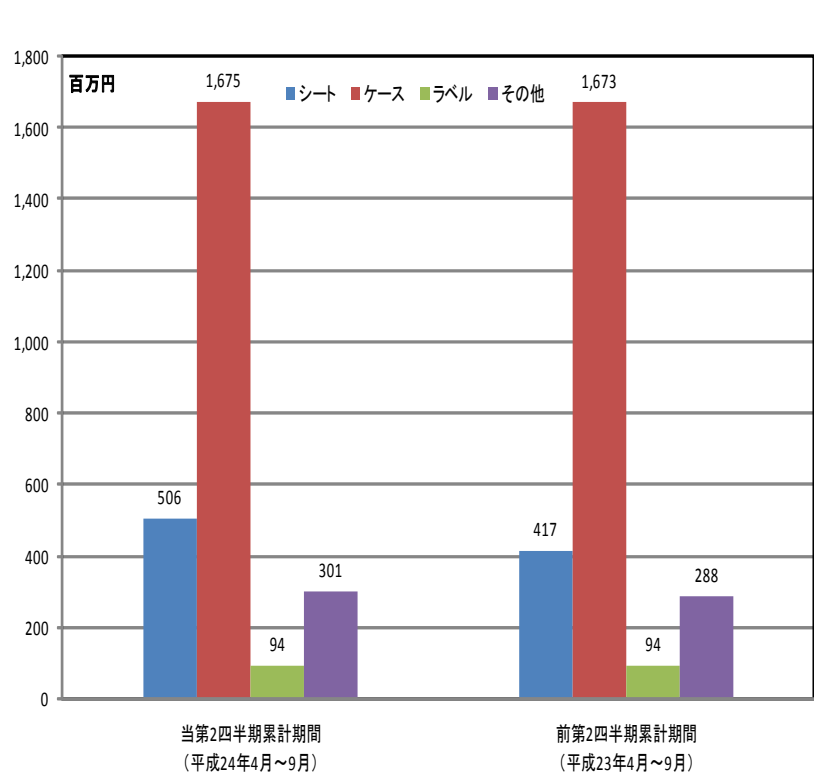
	当第2四半期累計期間 (平成24年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成23年4月～9月)
営業活動による キャッシュ・フロー	238	115
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 47	▲ 43
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 48	▲ 72
増減額(減少:▲)	142	▲ 0
現金及び現金同等物の 期首残高	2,208	2,258
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,350	2,257



品種別売上高及び生産実績

シート・ケース・その他は売上増となり、ラベルについては前年並となりました。

シート・ケースは前年並、ラベルは生産減少となりました。



今後の見通し

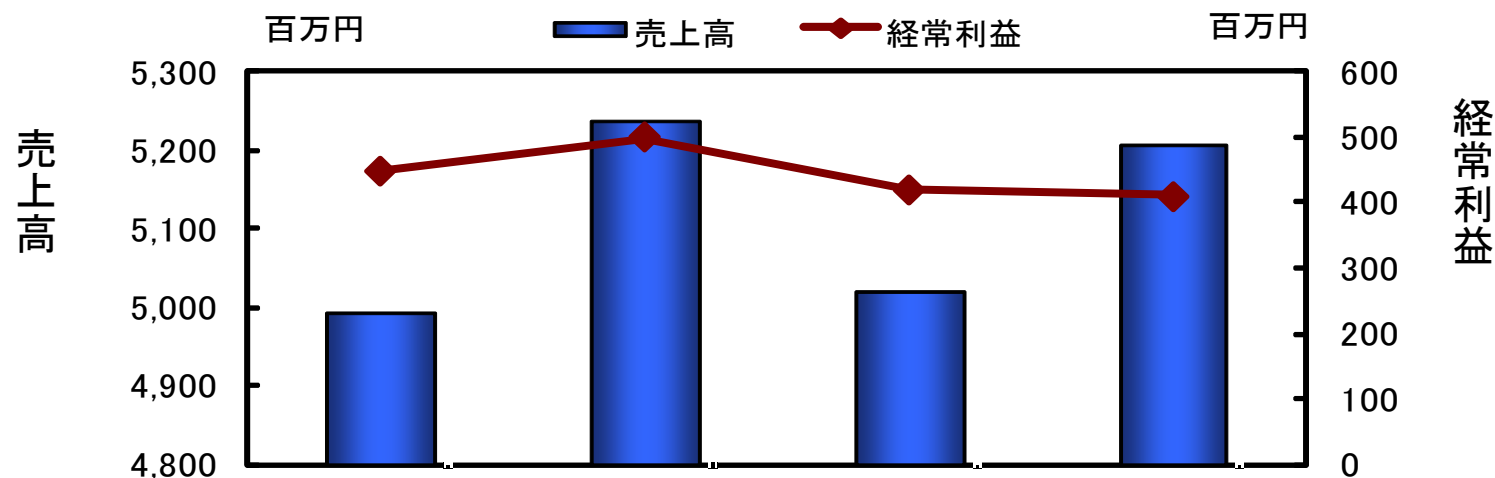


- 平成25年3月期の見通しにつきましては、東日本大震災の影響もあり、国内経済も厳しい雇用情勢や個人消費の低迷等により当面は厳しい状況が続くと思われまます。
- 当業界におきましても、国内はもとより輸出関係の段ボールも回復が遅れてくると思われまます。当社といたしましては、このような状況のもと徹底した経費削減と年間を通した販売イベントで出来るだけ利益の確保をしたいと考えております。
- このような見通しのもと、当社の平成25年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,207百万円(前期比3.7%増)、営業利益407百万円(同0.3%減)、経常利益410百万円(同2.2%減)及び当期純利益213百万円(同14.0%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



売上高および経常利益の見通し

※売上高5,207百万円(前期比3.7%増)、営業利益407百万円(同0.3%減)、経常利益410百万円(同2.2%減)及び当期純利益213百万円(同14.0%増)を計画しております。

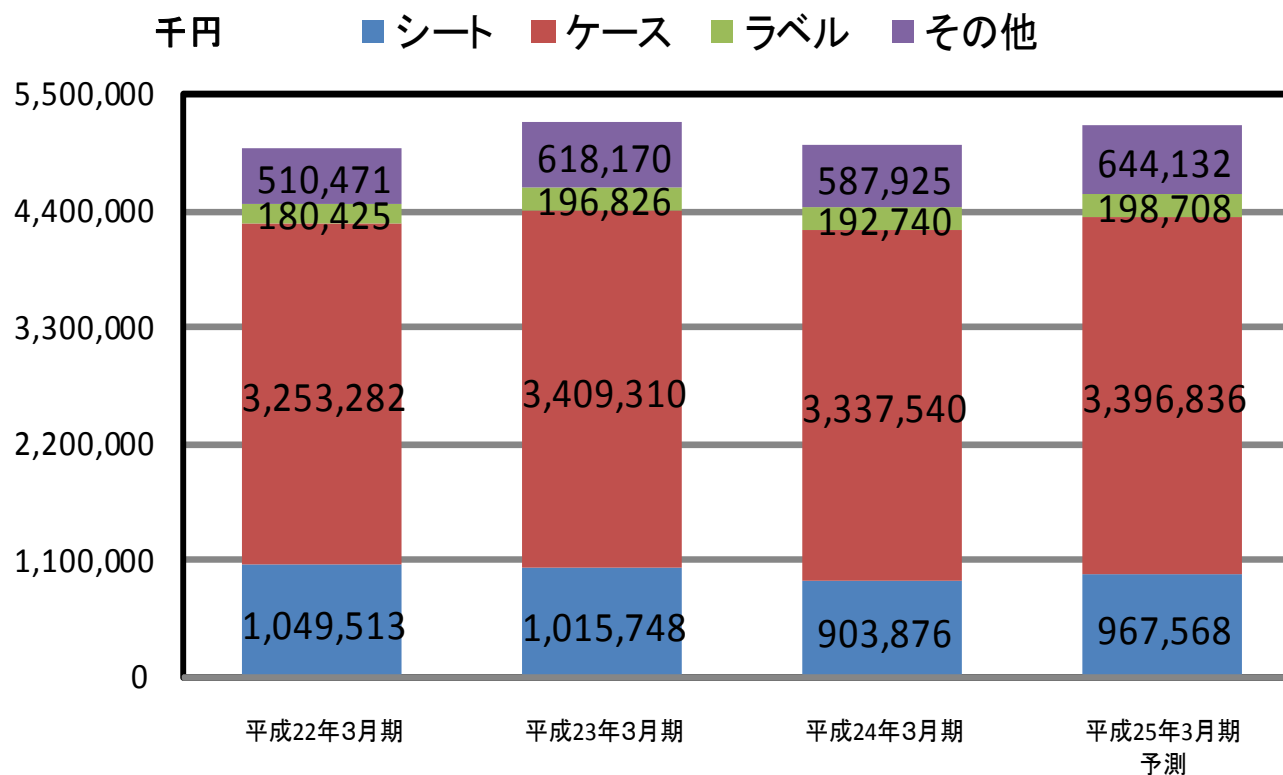


	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期 予測
売上高	4,993	5,240	5,022	5,207
経常利益	448	499	420	410



品種別売上高の見通し

※シート7.0%増、ケース1.8%増、ラベル3.1%増の見込みであります。





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。